

奈良県内で院外心肺停止となり救急搬送された方・ご家族の皆様へ
臨床研究へのご協力のお願い

奈良県立医科大学附属病院では、奈良県全体の蘇生記録、奈良県救急医療管制システム（以下、e-MATCH）情報、および救急隊活動検証記録に記録された情報を用いた研究を実施しています。本研究は、通常の救急活動、蘇生処置および搬送調整の過程で記録された情報を用いて行うものであり、この研究のために新たな診察、検査、処置等を追加で行うことはありません。研究の概要を以下のとおり公開します。

院外心肺停止における病院選定交渉継続と病院前蘇生介入の時間構造に関する観察研究

1. 対象となる患者さん

2022 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに奈良県内で発生し、救急隊により対応された成人（18 歳以上）の心原性院外心肺停止患者さんを対象とします。ただし、非心原性の心肺停止は除外します。

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 救急医学講座 川井 廉之

3. 研究の目的と意義

院外心肺停止の病院前活動では、救急隊による蘇生と搬送先病院の選定交渉が同時進行します。本研究の目的は、初回照会開始後の時間軸を分単位で再構成し、受入先が未決定である状態が、病院前心拍再開や病院前二次救命処置の実施タイミングとどのように関連するかを調べることです。

具体的には、静脈路確保、静脈路確保後のアドレナリン投与、高度気道確保、除細動などの病院前蘇生介入について、病院選定交渉が継続している時間帯にどのような時間構造を示すかを評価します。本研究により、病院選定交渉と病院前蘇生過程が同じ時間軸上でどのように進むかを明らかにし、今後の病院前診療や搬送調整体制を検討するための基礎資料となることが期待されます。

4. 研究の方法

奈良県全体の蘇生記録、e-MATCH 情報、救急隊活動検証記録を連結して解析を行います。各事案について、覚知、出動、患者接触、蘇生開始、初回照会開始、受入先決定、病院到着等の時刻情報を用いて、初回照会開始後の病院前活動の経過を分単位で再構成します。その上で、病院選定交渉が継続している時間帯と、病院前心拍再開、静脈路確保、アドレナ

リン投与、高度気道確保、除細動などの発生率および実施タイミングとの関連を統計学的に評価します。本研究は既に記録された情報を用いる観察研究であり、患者さんに追加の検査、処置、受診をお願いすることはありません。

5. 使用する情報

本研究では、奈良県全体の蘇生記録、e-MATCH 情報、救急隊活動検証記録に記録された以下の情報を使用します。

- ・ 年齢、性別などの患者背景情報
- ・ 目撃の有無、居合わせた人の有無、除細動器使用の有無などの病院前情報
- ・ 救急隊への入電や患者接触、蘇生開始、病院到着などの時刻情報
- ・ 医療機関照会回数、照会医療機関などの病院選定交渉に関する情報
- ・ 除細動、静脈路確保、蘇生のための薬剤投与、高度気道確保などの蘇生介入に関する情報
- ・ 病院前心拍再開、1 か月生存などの転帰に関する情報

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2029 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

本研究で用いる情報は、氏名、住所、電話番号など直接個人を識別できる情報を含まないように加工された情報として提供を受けます。研究者は研究用番号を付与した解析用データを用いて解析を行い、研究者が直接個人を識別できる情報を取得することはありません。

解析用データは、アクセス制限を付した研究用パソコン等で適切に管理します。研究成果を学会発表や学術論文等で公表する場合にも、個人を特定できる情報が公表されることはありません。また、個別の消防本部や医療機関が特定されないよう配慮して公表します。

9. 研究に関する情報の公開について

本研究は、既に記録された情報を用いて行う観察研究であり、新たな侵襲や医療行為を伴いません。また、研究で利用する情報は、直接個人を識別できる情報を含まないように加工された情報です。このため、研究対象者お一人ずつから同意を取得する手続きは行わず、研究の目的、方法、利用する情報の項目、研究期間および問い合わせ先等を公開することにより、研究の透明性を確保しています。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 救急科 川井 廉之

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：emer@naramed-u.ac.jp